

令和6年12月18日

校 園 名 大阪市立東三国中学校

校 園 長 名 羽 田 佳 弘

[illegible]

	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生とは地域の活動に参加してもらっていることから良好な関係が築けている。ただ、最近のスマホの仕様において、漢字・計算の力が衰えていないか心配している。 ・不登校が気になっている。東三国中学校ではいいじめはないと思っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが本日進路に係る「校長面談」を行ってもらい、校長先生からいろんな話をしてもらったと教えてくれた。教員が 720 時間の残業をしていることは一般企業では考えられないと驚くことがあった。 ・体育大会にて、1年生の保護者から小学校次は不登校だったが、東三国中学校に入学してから登校できるようになった。先生もよくしてくれ、生徒だけでなく、2・3年生も仲がいいと話を聞かせてもらった。 ・学校にかかわっているが、子どもはあいさつをいつもしてくれる。自己肯定感が低い子どもが多い中、全国学力学習状況調査での生徒アンケートで「自分にはよいところがある」の肯定的回答が 95%であることがすごいと思った。学校生活が充実しているからと思った。 ・マナー講座の講師として新東三国中学校の子どもたちとかかわった。礼儀正しく、ロールプレイを自ら率先して実践できる。また、クラスメート同士がお互いを温かく受け止めている。気になっているのは、「運営に関する計画」内の中期目標の達成に向けた年度目標内の「いじめはどんな理由があってもいけないと思いますか」のパーセンテージが100近くまで行かないのはなぜかと思った。 	<p>学習の一助にもなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校生の改善ができてきている。子どもによっては、一人一台端末を使用し、担任とリモートで連絡を取り合い、保護者が感謝しているケースもある。スクールカウンセラーやこどもサポートネットと連携を密に取っている。ただ、どの子であってもいつ不登校になるという不安もある。 <ul style="list-style-type: none"> ・本校生徒は1～3年生は縦割りで話すこともあり、スムーズな上下関係が築けている。また、11月に1・2年生が合同で奈良へ校外学習を行った。トラブルもなく終えることができた。 ・小学校では自己肯定感が低い、教員たちにはたくさん褒めるよう伝えている。 いじめは絶対にダメなのだが、100%は到達しない。いじめをされた側が嫌な思いをしたらそれがいじめになる。例えば、友達からいじめるつもりでなく、きつい言い方をしても、言われた方はいじめととらえる。このような対応であれば100%は難しい。
--	---	--

協議 資料	<学校配付資料> ・東三国中学校のあゆみについて 全国学力・学習状況調査、3年生チャレンジテスト結果 ・令和6年度「運営に関する計画」(中間評価)
備考	傍聴者[0]名